10 October

1 November

あじび研究所3

2 December

夏休みこども企画 サイエンスの眼 7/12(木)→10/2(火) Summer Kids Special - Science Eyes

福岡大会関連企画手で考える

10/4(木)→2019/1/15(火)

Hand Thinks

9/20(木)→12/25(火) Ajibi Art Lab 3

横尾忠則とアジア'89 9/20(木)→12/25(火) Yokoo Tadanori and Asia in 1989

ラク・ロイ (バングラデシュ)

黄尾忠則(日本) 聖シャンバラ 火其地」1974年 国岡市美術館所蔵 koo Tadanori (Japan) nambara: Teias-Bhumi

(火・祝)は休館

tarting from the Beginning V 1998

福岡市障がい児・者美術展「福岡ユアサイド・アート2018」

Fukuoka Disabled Children and Adults Art Exhibition

第35回伝統的工芸品月間国民会議全国大会

第23回福岡市美術連盟展 10/11(木)→10/16(火)ABC 23rd Fukuoka City Art League Exhibition

第71回示現会展

10/18(木)→10/23(火)@®© 71st Shigenkai Exhibition

第29回集団AUF展 10/25 (木)→10/30 (火) (A) 29th AUF Group Exhibition

WITHIN SIGHT 10/25 (木)→10/30 (火)® WITHIN SIGHT

10/4(木)→10/9(火)ABC

九州ADC AWARD 2018 11/1 (木)→11/6 (火) @®© Kvushu ADC 100 Award 2018

> 第39回中央区市民文化祭美術作品展 11/8(木)-11/13(火)A 39th Chuo-ku Public Culture and Arts Exhibition

Heart Art in FUKUOKA 2018第21回エイズチャリティ美術展 11/8 (木)→11/13 (火)®© 21st AIDS Charity Exhibition: Heart Art in Fukuoka 2018

闇に刻む光

アジアの木版画運動1930s-2010s 11/23(金·祝)→2019/1/20(日)ABC **Brave Carved in Darkness:** 

Woodcut Movements in Asia 1930s-2010s

ドンホー版画 「奴らを逃がすな」 Dong Ho Print Don't Let Them Away 1972, Private Collection

**有元伸也写真展「カルカッタ、チベット他」** 10/25 (木)→10/30 (火) © Arimoto Shinya Photography Exhibition

書のときめき展'18一墨会&井上一光

9/27(木)→10/2(火) The Wonder of Caligraphy 2018: Ichibokukai and Inoue Ikkoh

> Pojagi • Settam 韓国伝統手芸チョガッポ作品展

10/4(木)→10/9(火) Traditional Korean Pojagi/Settam Crafts Exhibition

第48回福岡市高齢者美術展 10/11(木)→10/16(火)

48th Fukuoka City Seniors Art Exhibition

福岡インディペンデント映画祭2018 10/4(木)→10/7(日) Fukuoka Independent Film Festival 2018

博多の遺跡展

10/21(日)→11/11(日) Archaeological Relics of Hakata Exhibition

2018日韓工芸作品展

11/15(木)→11/20(火) 2018 Japan-Korea Craft Exhibition

第41回福岡市退職小学校長会作品展

11/22(木)→11/27(火) 41st Fukuoka City Retired Schoolmasters' Group Exhibition

> イラストレーション・スタジオ展 11/25(木)→11/30(日) Architectural Illustration Exhibition

福岡・新世代アートフロンティア展

11/29(木)→12/4(火) Fukuoka New Generation Art Frontier Exhibition

第38回南区美術展

12/6(木)→12/11(火) 38th Minami-ku Group Art Exhibition

第34回城南区市民アート展 12/13(木)→12/18(火)

34th Jonan-ku Citizen Group Art Exhibition ロータリー・ジュニア美術展

12/20(木)→12/25(火) **Rotary Club Junior Exhibition** 

> こんにちはシネラです 12/9(日) Asian Film Screening

※アジアギャラリーでは、毎日13~16時にボランティアによる作品解説をおこなっています。 お気軽にお声をおかけください。

TEL 092-263-1100

http://faam.city.fukuoka.lg.jp 〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1 リパレインセンタービル7・8階 7・8F Riverain Center Bldg., 3-1 Shimokawabata-machi, Hakata-ku, Fukuoka, 812-0027 Japan

開館時間 午前10時~午後8時(入場は午後7時30分まで) 休館日 毎週水曜日(水曜日が休日の場合はその翌平日)、年末・年始(12月26日から1月1日) Open 10:00 – 20:00 (Last admission 19:30) Closed Wednesdays (or the following day if Wednesday is a national holiday), New Year's Holidays (26 December – 1 January)



市営地下鉄

中洲川端駅下車、6番出口より徒歩すぐ »福岡空港駅より9分 »博多駅より3分

»天神駅より1分

By City Subway Alight at Nakasu-Kawabata Station and take

»From Fukuoka Airport Station: 9 minutes »From Hakata Station: 3 minutes »From Tenjin Station: 1 minute

西鉄バス

川端町・博多座前バス停下

»太宰府方面から都市高速千代ランプより車で約7分 »北九州方面から都市高速呉服町ランプより車で約5分 車、徒歩すぐ ※昭和通りより、博多リバレイン地下の駐車場(有料) を御利用ください

By Nishitetsu Bus Kawabata-machi/Hakataza-mae bus ston

By Car

»From Dazaifu: 7 minutes from Chivo Ramp, Urban Expressway

»From Kitakyushu: 5 minutes from Gofukumachi Ramp,

\*Enter Hakata Riverain Bldg underground parking from Showa-dori

"あじび" は福岡アジア美術館の愛称です

Fukuoka Asian Art Museum News Ailbi News "Ajibi" is a nickname of the Fukuoka Asian Art Museum

vol.74

Japanese/English

contents

exhibition

闇に刻む光 アジアの木版画運動 1930s-2010s 手で考える

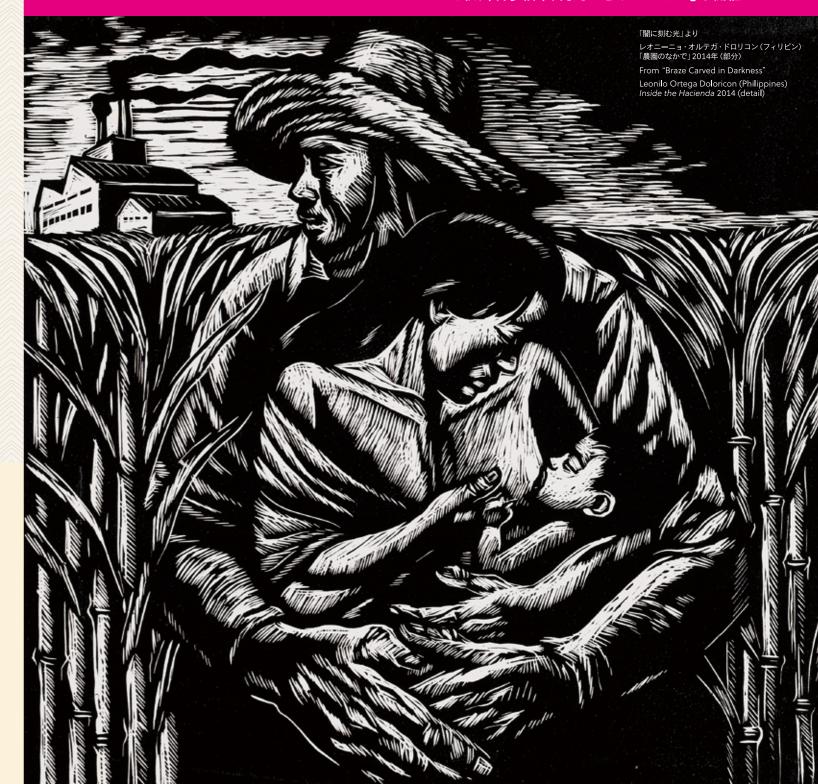
横尾忠則とアジア'89 あじび研究所3

my favorite piece

私の逸品―小副川 太郎さん topic

あのポップな壁画が、ミュージアムグッズに仲間入り!

この秋、「博多旧市街まるごとミュージアム」が開催!



2018年10月1日発行 編集・発行:福岡アジア美術館 企画・編集:木下貴子(CXB) デザイン:大村政之(クルール) 翻訳:ステファニー・オリー 印刷:株式会社インテックス Published 1 July 2018 / Published and edited by Fukuoka Asian Art Museum

Planned and edited by Kinoshita Takako (CXB) / Designed by Omura Masayuki (Couleur) / Translated by Stephanie Oley / Printed by IN-TEX Fukuoka Co., Ltd.

Woodcut Movements

アジアの木版画運動 1930s-2010s

11月23日(金·祝)-2019年1月20日(日) Fri 23 November – Sun 20 January 2019

木版画は作者の労働が版木に刻印され、刷れば彫った部分 が白い光となり、多くの人に届けることを可能にします。さらに、 簡便な材料と技術で複製できるので、しばしばアジア各地の政 治運動・社会運動のなかで制作・流通されました。植民地か らの独立運動、独裁政権からの民主化運動、過酷な労働条件 の改善運動、環境破壊への抗議など。植民地時代から今日の

反グローバリズム運動に至るまで、社会の問題をえぐりだし、 遠隔地の人々との連帯を求め、よりよい社会を作る行動をうな がすために、木版画はアジアの近代化のなかで重要な役割を果 たしたのです。その役割は通常の美術作品をはるかに超えた「民 主的メディア」であり、今日のSNS(ソーシャルネットワーキング・ サービス) の先駆けとも言えるのではないでしょうか。 /

本展は、このような草の根的な運動のなかで木版画が果たし た役割を再評価し、アジア各地の木版画運動が注目すべき動き を見せた時代に焦点をあて、異なる時代と地域を繋ぐ版画運動 のネットワークを明らかにします。1930年代、魯迅がケーテ・ コルヴィッツの近代木版画を中国で紹介した歴史を皮切りに、 日本、ベンガル、インドネシア、シンガポール、ベトナム、フィリ ピン、韓国、マレーシアなどへ広がりを見せた木版画運動に関 する作品・資料など約400点を紹介します。

Bearing the marks of their creator on the printing block, woodcuts are characterized by their light, white markings and their ease of distribution to a wide audience. They can be made from easily available materials and were often created and disseminated during political and social movements in Asia: independence from colonial rule, civil uprisings against

dictatorships, labor reforms, and protests against environmental pollution and so on. The woodcut has played an important role in the modernization of Asia, from colonial times through to today's anti-globalism movements, conveying social problems and uniting communities to create better societies. Its role surpasses that of regular art as a democratic media, almost as a precedent of today's social networking service (SNS).

In this exhibition, we examine the role of the woodcut in grassroots movements throughout Asia in a remarkable era, to reveal the threads that bind the different eras and regions. The exhibition starts from the 1930s, when Lu Xun introduced Käthe Kollwitz prints in China. More than 400 prints and related materials works are on display, from Japan, Bengal, Indonesia, Singapore, Vietnam, Philippines, Korea, Malaysia and other countries.

### 展示構成

1930

上海:ヨーロッパの 木版画、中国で紹介 される

Shanghai: China's encountering with European woodcuts

1930年以降の上海で、魯迅 (ろじん) がケーテ・コルヴィッ ツほかヨーロッパ各地の近代木 版画を出版物で紹介し、表現 主義的な木版画が新興木版画 運動の素地となる。



ケーテ・コルヴィッツ(ドイツ)「寡婦」 1922-23年 福岡市美術館蔵 The Widow | (Sheet 4 of "War") 1922-3, Collection of Fukuoka Art

1930s

中国と日本:版画運 動が発展、美術の大 衆化の動き

China and Japan: Growth of woodcut movements seeking popularization of art

1931年の上海で内山嘉吉に

よる木版画講習会が開かれ、

13人の若い中国作家が参加

したことをきっかけに、木版画

運動は中国各地に拡大した。

チェン・バオチェン/陳葆真 (中国)

「光は頭上に」1932年頃 神奈川県立近代美術館蔵

1940s-50s

日本:美術の民主化 を、中国版画ブーム Japan: Exploration of democratic art and a boom of Chinese woodcuts

1940s-50s

ベンガル:土地を奪 還せよ

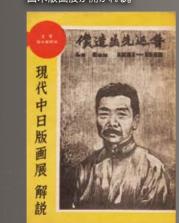
Bengal: Return our

1950s-60s

インドネシア:新聞に みる版画交流

Indonesia: International exchange of woodcuts in newspaper

終戦により日本の民主化への動き が高揚するなかで北関東を中心に 木版画運動が展開し、職場・地 域サークルでも木版画が盛んにな る。日本各地で200回を超える中 国木版画展が開かれる。



「現代中日版画展 解説」表紙 1947年 飯野農夫也画業保存会蔵 Cover of a brochure for Cont

ベンガル (現インド東部とバングラデ シュ) で、農民運動、反帝国主義などを テーマとした版画が制作される。



1950s-60s

シンガポール:大陸 から南洋の日常へ、 版画と漫画の交錯

Singapore: Shifting identity to the local, and woodcut as cartoon 1960s-70s

ベトナム戦争の時代: 国境を超えた共闘 Era of Vietnam War:

Joint-struggle beyond national borders

1970s-80s

フィリピン: 独裁政権 との闘い

The Philippines: Art of protest against the dictatorship

1980s-2000s 韓国:高揚する民主

化運動で木版画が大 活躍

Korea: Woodcuts as icons of the democratization movement

10

インドネシアとマレー シア:自由を求める

2000s-

DIY精神 Indonesia and

Malaysia: DIY spirit for freedom

ベトナムでは民俗芸術と融合した戦争主題の 木版画が作られる。また、一枚の中国版画が パキスタンやアメリカまで南ベトナム支援や女 性解放闘争のシンボルとして広まっていく。

◆オープニング・トーク

※予約不要·入場無料

◆スペシャルトーク

12月9日(日) あじびホール(8階)

「魯迅に博多人形を贈った画家、鎌田誠一」

12月16日(日)14:00~16:00 あじびホール(8階)

横地剛×黒田雷児(福岡アジア美術館)※予約不要・入場無料

※詳細は当館HPに掲載します



ファム・ヴァン・ドン 「チュン姉妹と進め」 1970年 Pham Van Don Advance with the Trung Sisters 1970

「アジア美術史を裏返すー木版画にみる抵抗と解放」

黒田雷児(福岡アジア美術館運営部長、本展企画者)

11月23日(金・祝) 14:00~16:00 あじびホール (8階)

「闇に刻む光-アジアの木版画運動 1930s-2010s」展 協力企画

こんにちはシネラです一福岡市総合図書館収蔵の名作アジア映画を届けます一

1980年5月の「光州民衆運動」を契機に、 韓国各地に反独裁の民主化運動が拡大、 「民衆美術」が成長していく。木版画は政 治集会やデモ、出版や市民学校など運動 の様々な局面で重要な役割を果たす。



ホン・ソンダム「五月-25 大同世-1|1984年 Hong Sungdam May-25: The World of Unity-1 1984

1998年のスハルト政権 崩壊の前後、音楽家、美 術家、学生、政治活動家 らが結成した集団(コレク ティヴ)が、政治の腐敗 や環境破壊を告発、農村・ 漁村の民衆を支援する。 DIY (Do It Yourself)精 神から、木版画メディア が復活をとげ、その影響 がアジア各地に及ぶ。

> タリン・パディ (インドネシア 「泉を守れ」2009年 Taring Padi (Indone Save the Spring 2009



◆学芸員によるギャラリートーク

①12月1日(土)シンガポール、フィリピンの出品作品について ②12月15日(土)ベンガル、韓国の出品作品について ③1月5日(土)中国、日本の出品作品について 13:00~13:30 企画ギャラリー(7階) ※予約不要・要展覧会チケット

◆週末ワークショップ

12月1日(土)、12月15日(土)、1月5日(土)、1月19日(土) アートカフェ (7階)

※詳細は随時当館HPに掲載します

◆英語でギャラリーツアー

11月30日(金)、12月14日(金)、1月4日(金)、1月18日(金)

14:00~14:30 企画ギャラリー(7階) ※予約不要・要展覧会チケット

会場: 企画ギャラリー (7階)

◎一般1000円(800円) 高大生700円(500円) 中学生以下無料 ※この料金でアジアギャラリーもご覧いただけます。( )内は前売り料金 Venue: Exhibition Gallery (7F) 

Adult ¥1000 College & High School ¥700 \*Free for Secondary school and under

コレクション展 | Collection

# 第35回伝統的工芸品月間国民会議全国大会福岡大会関連企画 手で考える Hand Thinks

### 10月4日(木)-2019年1月15日(火) Thu 4 October - Tue 15 January 2019

美術の制作方法といえば、まずは「描く」という行為が思い浮かぶかもしれません。しかし、人の手が担うべき役割は、それだけではありません。《黄金のベンガル》(図1)では女性の手によってのどかな農村風景が縫い込まれ、《私はそんなジャワ人ではない》(図2)では籐細工職人が協力しています。ほかにも染める、彫るなど、「作り手」はさまざまな素材と対話しながら、最良のかたちを直感的に考えているのです。ここでは、糸や布、木、土などを素材に、手で考え、社会までも編み込むような手工芸的アプローチをとる作品を紹介します。

The term 'art production method' may largely suggest painting, but the human hand is capable of much more. The work *Golden Bengal* (picture 1) depicts a rural scene and was hand-stitched by village women, while *I am not that particular kind of Javanese* (picture 2) is by a collaboration of rattan artisans. Through techniques such as dyeing, carving and more, these artists intuitively create a beautiful outcome. This exhibition brings together creative works made by hand and offering a unique social perspective, using materials such as thread, cloth, wood and earth.



1) デザイン・制作: BRAC (バングラデシュ農村向上委員会) / アーロン 「黄金のベンガル/辟掛け! 2000年

Designed and produced by BRAC (Bangladesh Rural Advancement Committee)
//Aarong
Golden Bengal/Tapestry 2000



### 伝統的工芸品月間 国民会議全国大会って?

経済産業省が毎年11月に開催する大会で、 全国の伝統工芸品の製作体験や展示などが おこなわれます。今年は、福岡県にて30年 ぶりの開催となります。

会期:11月1日(木)~4日(日) 会場:アクロス福岡、マリンメッセ福岡など

2) ニンディティオ・アディブルノモ(インドネシア) 「私はそんなジャワ人ではない」 2000-2001年 Nindityo Adipurnomo (Indonesia) I am not that kind of particular Javanese, 2000-2001

## あじび研究所 3

A.H. マハヴァル (パキスタン)「切望」 1966年 A. H. Mahver (Pakistan) *Longing (Armaan)* 1966

9月20日(木)-12月25日(火) Thu 20 September – Tue 25 December

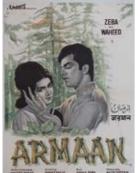
あじび所蔵作品から1作品を掘り下げて紹介する企画「あじび研究所」。3回目の今回は、1966年にパキスタンのカラーチーで上映された映画「切望」のポスターです。

In this space, we introduce a work from the FAAM collections. This display is the third in the series and shows a poster from the film *Longing*, first screened in Karachi, Pakistan in 1966.

映画のタイトル は、何か国語で 書いてある?

全 主演男優ワヒード・ムラッドは「チョコレート・ヒーロー」と呼ばれていました。どういうこと?

「切望」はパキス タン映画史上大 ヒット! 何週間のロン グランだったでしょう?



A1 3か国語 (英語・ウルドゥー 語・ベンガル語)

ほかの答えは… 会場にて!

## 横尾忠則とアジア'89

Yokoo Tadanori and Asia in 1989

9月20日(木) — 12月25日(火) Thu 20 September — Tue 25 December

横尾忠則が惹かれた神秘的なインド・イメージを展開させた《聖シャンバラ》シリーズと、1989年に横尾が参加した2つのアジア美術の展覧会「第3回アジア美術展」と「第4回バングラデシュ・アジア美術ビエンナーレ」のポスターや資料から、横尾とアジアとの関わりを紐解きます。



Yokoo Tadanori works including the St Shambhala series, inspired by spiritual Indian imagery, posters from two 1989 Asian art exhibitions in which Yokoo participated, and other materials. This special exhibition explores the rich connections that Yokoo had with Asia.

横尾忠則 (日本) 「第3回アジア美術展」 1989年 福岡市美術館所蔵

Yokoo Tadanori (Japan) The 3rd Asian Art Show, Fukuoka 1989, Collection of Fukuoka Art Museum

3展共通データ Collection Exhibition Data 会場: アジアギャラリー ©一般200円 高大生150円 中学生以下無料 Venue: Asia Gallery © Adult ¥200 College & High School ¥150 \*Free for Secondary school and under

## 私の逸品

-あじびコレクションより--

My Favorite Piece From the FAAM Collections

vol.43

各ジャンルで活躍する様々な方に、 あじびでお気に入りの作品を 選んでいただくコーナーです。

In this section, we invite special guests from various career backgrounds to name their favorite FAAM artwork.



**アイワン・ピーリス**〈スリランカ〉 「**デヒワラ**」1978年

Ivan Peries (Sri Lanka) Dehiwala 1978



博多人形師。1978年福岡市生まれ、在住。祖父、 父も博多人形師。2006年に博多人形伝統工芸士・武吉國明氏に師事。2010年独立、2013年より「博多人形白彫会」会員。遊び心と挑戦を大切にし、下記のリトル・ホァの博多人形制作にも「おもしろそう」と自ら進んで協力してくれた。10月31日~11月5日開催の「第70回白彫会博多人形新作展」(福岡三越9階)にて新作を発表。

Hakata dollmaker, Born 1978 in Fukuoka and a resident of the city. Osoegawa is a third-generation Hakata dollmaker, following in the footsteps of his grandfather and father In 2006, he became apprenticed to master Hakata dollmaker, Takevoshi Kuniaki, Completed his apprenticeship in 2010 and in 2013 became a member of the Hakata doll Hakuchokai committee. His creative policies are to maintain a playful and questioning snirit as revealed recently when he created an original Hakata doll for FAAM (see article below). Will exhibit new works on the Level 9 gallery at Fukuoka Mitsukoshi this 31 October to 5 November, as part of the 70th Hakuchokai Hakata doll exhibition

http://hakata-hakuchokai.com/kaiin/

### "シンプルな表現だからこそ、作家の力量を感じます"

シンプルに表現することって、僕の場合とても難しいことです。人形に彩色する時も、つい描き込んでしまったり…。この作品は、非常にシンプルな描写にもかかわらず、説明書きを見なくとも、ここが南国の美しい浜辺であるということがすぐに分かります。葉も描かれていないのにこの木が椰子と判断できるところなどすごいですよね。また僕は白色を際立たせることも難しいと常々思っているのですが、この絵はそれも備えています。なかなか自分ではできない表現力に惹きつけられました。

#### "The artist's brilliance is clear from the simplicity of this piece."

Expressing something simply is very difficult to me. When I paint a doll, for example, it's easy to over-paint. However, despite the pared-back style of this painting and without reading any explanation, you immediately recognize that it depicts a beautiful tropical beach. No leaves are painted, yet there are clearly palm trees. Also, while I sometimes find it difficult to make white stand out, this picture achieves that. I was drawn to this painting because it has an expression unlike any of my own work.

#### 学芸員から一言 Curator's comment

単純化された形で構成された本作は、画肌はひび割れた陶器のような質感が意図的に作り出されおり、一見シンプルにみえて実は作りこまれた作品だといえるでしょう。スリランカの西岸に位置するデヒワラ出身のピーリスは、スリランカ初の近代美術グループ「43年グループ」のメンバーとして活動した後、1950年代にイギリスに移り住みました。その後故郷へ戻ることはほとんどなかったようですが、海岸風景を描いた作品を数多く残しています。(山木)

This work does have extremely simple forms. While it has the texture of intentionally broken ceramics, the work is elaborate despite its apparent simplicity. The artist Peries, who comes from Dehiwala in western Sri Lanka, was a member of the country's first modern art group, 43Groupe, and lived in the United Kingdom after the 1950s. He rarely returned to his native country, but has painted numerous scenes like this depicting the coast. (Yamaki)

### あのポップな壁画が、ミュージアムグッズに仲間入り!

### FAAM's pop-inspired first-floor mural is now a store item!

あじび1階を飾るブー・ホァ (中国) の壁画《最良のものはすでにある》が、ミュージアムグッズになって次々に登場。第一弾は3人の若い博多人形師が手掛けたオリジナルグッズで、壁画に描かれたおさげ髪の女の子「リトル・ホァ」と象の「リトル・ミドゥラ」が博多人形になりました。かわいくてちょっと不思議なこの人形たちは、6月よりあじびのショップにて販売されています。さらに同壁画をモチーフにしたマグカップ、大判ハンカチ、マグネットなどのグッズも企画中です(発売日は未定)。どうぞご期待ください。

Chinese artist Bu Hua's mural painting *The Best Has Already Come*, on display on FAAM's first floor, is being adapted as a museum shop item. First in store is a series created by three emerging Hakata dollmakers, based on the pigtailed girl and the elephant in the painting. They have been available in the FAAM store since June 2018. Other items coming soon include mugs, handkerchiefs and magnets, also inspired by Bu Hua's mural painting.



上から
「リトル・ホァ(夏服)」
7,000円 人形師: 下川貴士
「リトル・ホァ(冬服)」
4,000円 人形師: 小副川太郎
「リトル・ミドゥラ」
4,000円 人形師: 宮永誉
※価格はすべて粉抜です

福岡市文化 芸術振興財団が企画中のマグカップ(参考)→



## この秋、「博多旧市街まるごとミュージアム」が開催!

### This fall, Art in Hakata Old Town appears!

10月31日(水)-11月4日(日) Wed 31 October - Sun 4 November ※博多旧市街ライトアップウォークと同時開催

ヴー・キム・トゥー



1976年ベトナム・ハノイ生まれ、在住。紙で作ったランタンで光を用い たインスタレーションを得意とするトゥーさんは、9月より福岡に滞在し、 作品制作をおこないます。福岡の街をリサーチし、龍宮寺三宝大荒神堂 にインスタレーション作品を設置。温かく柔らかな、紙と光が織りなす美 しい作品をご期待ください。

Born in Hanoi, Vietnam in 1976 and currently resides there. Thu has a particular interest in light-based installations made with paper

lanterns, and will create such a work during her residency at FAAM starting in September. The work will be displayed at Ryuguii Temple, Don't miss the warm, soft light of this paper lantern installation.



※参考作品

モー・ジアチン Mo Jiaqing



1993年中国・杭州生まれ、在住。今年5~7月に福岡に滞在したジアチ ンさんは、近未来的な台所をイメージしたカラフルな映像作品を制作しま した。あじび館内では、撮影セットとともに展示し、館外でも展示をおこな います。シュールでポップなジアチンさんの作品世界をお楽しみください。

Born in Hangzhou Province, China in 1993 and currently resides there. During her residency at FAAM between May and July 2018, the artist created a colorful video art work depicting a futuristic kitchen. This will be displayed within and outside FAAM, which inside FAAM will be together with its original set. Both surreal and Pop in nature, Jiaqing's works are a



上) 過去の映像作品より ※参考 above) Still from past video work reference image 下) あじびに展示される撮影セット

入場料:無料 開場時間:各会場、作家によって異なります \*詳細はあじびHPをご覧ください ※冷泉公園会場のみ11月1日(木)~11月3日(土) ※龍宮寺のみ17:30以降は博多旧市街ライトアップウォークチケットが必要(別売り) Admission: Free Times: Viewing times vary for artists and venues \*see website for details \*Reizen Park venue: Tue 1 – Sat 3 November Note: Tickets required for admission to Ryuquji Temple after 5:30pm during Hakata Old Town Light Up Walk.

### 9~11月にあじびで滞在制作をおこなうトゥーさんに、今回制作する作品についてうかがいました。



私は歴史を感じる街並み、地図、建築などに興味 を持っています。歩きながら福岡を探索し理解し ていく中で、福岡における様々なコミュニティや特 徴をつかみ、自分の作品に反映したいと思います。 福岡を訪れるのは今回が初めてなので、この土地 の文化からこれまでにないインスピレーションを受 けられればと思っています。福岡独自の工芸につ いても知りたいですし、可能であれば作品にも生 かしたい。龍宮寺で展示予定の作品は、紙か透 明な素材を用いた光の彫刻を組み合わせたものに したいと考えています。観客がお寺の歴史的な部 分と作品を通して、新たな空間体験を同時に感じ られるようなものになるとうれしいです。

I am always interested in cities, maps and architectures that evoke history. During my stay in Fukuoka, I hope to walk, explore and get to know the city. I would like to discover different neighborhoods and characteristics, and to express this in my work.

Since I have never been to Fukuoka, I am very open to any new inspiration I gain from the culture here. I would love to learn about local handicrafts in Fukuoka, and even incorporate them into my work. My installation will be displayed at Ryuguji Temple, and I hope to create a light sculpture using paper or other translucent materials. By seeing the site's history side-by-side with my artwork, visitors will get a fresh perspective on this landmark.

春に福岡城で開催され好評を博した「まるごとミュージアム」。 秋にふたたび開催されることが決まりました! 今度は、寺社仏閣 など歴史が感じられる博多部が舞台になります。あじびのレジ デンス・プログラムに参加した作家と日本作家を含む7組の作 品が博多旧市街に点在します。

Warmly received when it opened this past spring, our popular exhibition Art in series comes to the city this fall. This time, the setting is the temple and shrine-filled with history of traditional Hakata. Seven artists and groups in total, including guests from the FAAM residential program and Japanese artists, will be featured throughout the district's historic streets.

### チュンリン・ジョリーン・モク

Chung Ling Jolene Mok



「店を見る」2015年 Shop Watching 2015

1984年香港生まれ、在住。2015年のレジデンス・プラグラムで 滞在したジョリーンさんが、川端商店街の16店舗を撮影した映像 作品《店を見る》。今回初めて川端商店街の中で展示されます。商 店街の日常を温かな視点で記録した本作品、制作から3年が経過 し、撮影現場の雰囲気の中でみることで、新たな感動が生まれます。 Born 1984 in Hong Kong and currently lives there. Participated in FAAM's residence program in 2015, when she created the video work Shop Watching, based on footage of 16 stores in the city's historic Kawabata Shopping Arcade. This time, the work will be on display at the arcade for the first time. Captured with warmth, the artist's images of everyday Kawabata are compelling within the setting, three years after

### ストーリーボックス

their original production.

Storybox



「残照 | 2012年 (シンガポールでの展示風景) ※参考作品 Afterlight at Marina Bay 2012, Singapore \*reference work

2010年に設立されたマルチメディア・スタジオ。ニュージーラン ドを拠点に、「物語」を多彩な手法で紡ぎだす作品を発表してきま した。出来町公園にて、海上運送用コンテナを用いた大掛かりな 映像インスタレーションを展示します。

Multimedia studio founded in 2010, and based in New Zealand. The group creates works centered on the theme of 'storytelling' in all its forms. For this art event, they will hold a large-scale film installation inside a shipping container placed at Dekimachi Park.

### 牛嶋均 Ushijima Hitoshi

久留米在住の美術作家、パフォーマー。遊 具としても遊べる造形作品で知られますが、 今回は大掛かりな構造物に特殊な照明を組 み合わせた新作を発表します。

Kurume-based fine artist and performer. Ushijima is known for his artworks that can be used as playground equipment, and this time will create a large-scale construction featuring illumination.



「行くブランコver.2」2010年 ※参考作品 Go-swing ver.2 2010 \*reference work 撮影: 斧澤慶一郎 photo by Onozawa Ichiro

### 鈴木康広 Suzuki Yasuhiro

東京在住の美術作家。日常の見 慣れた事がらを、遊び心にあふれ た独自の「見立て」によって作品 化し、注目を集めています。今回 は冷泉公園の芝生の上に、全長 18mの大きな《空気の人》を出 現させる予定です。

Artist, resides in Tokyo. Suzuki has drawn acclaim for his playful works that turn everyday objects into showcase items. On this occasion, the



「空気の人」2017年 Aerial Being 2017

artist will display an 18-meter long work named Aerial Being in Reizen Park.

### とよだまりさ Toyoda Marisa

北九州在住の美術作家であり、 浄土真宗の僧侶。NHK連続テレ ビ小説『てっぱん』『純と愛』では、 絵画指導・制作を担当しました。 龍宮寺の有名な人魚伝説を絵画 にして展示します。

A resident of Kitakyushu, artist Toyoda Marisa is also a Jodo Shinshu priest. She has a background in set design and creative direction for national broadcaster NHK's serial dramas. For this art event,



Handycraft Buddha 2016 \*reference work

Toyoda will create a painting inspired by the legendary mermaid of Ryuguji

